

## 科目別 習問題集「理論」初版 第 2 刷 正誤表

題記書籍の初版本 第 2 刷の中に、下表に示す誤記がありましたので、お詫びして訂正致します。 お手数をお掛けしますが、下表のとおり訂正を お願い致します。

著者 ; 柴 崎 誠

## 正誤表 (1 / 3)

訂 正 箇 所	誤 っ て い る 部 分	正 し い 表 記
P1 の表 1 の $\mu$ の行の 補助単位記号の使用例	電荷量 3 [pC] = $3 \times 10^{-6}$ [C]	3 [ <u><math>\mu</math></u> C] = $3 \times 10^{-6}$ [C]
P44 の(3)式	$F$ [ <u>F</u> /m] = $I$ [A] · $B$ [T] = $I$ [A] · $\mu$ · [A/m]	$F$ [ <u>N</u> /m] = $I$ [A] · $B$ [T] = $I$ [A] · $\mu$ · [A/m]
P64 模擬問題の設問 文の上から 4 行目	・・・及び、その起電力の <u>値</u> について	・・・及び、その起電力の <u>最大値</u> について
P64 模擬問題のヒント トの下から 3 行目	1.0[m]の部分のみが、磁束と有効に <u>鎖交</u> する。	1.0[m]の部分のみが、磁束と有効に <u>最大に</u> 鎖交する。
P64 模擬問題のヒント トの下から 2 行目	よって、上の(1)式の導体の <u>有効長さ</u> $l$ [m]	よって、上の(1)式の導体の <u>最大の</u> 有効長さ $l$ [m]
P65 の図 2 の中の 左側の吹き流しの中	・・・鎖交する <u>長さ</u> は 1.0m である。	・・・鎖交する <u>最大の</u> 長さは 1.0m である。
P65 の解説文の (3)式から 1 行下の文	・・・有効に鎖交する <u>長さ</u> $l$ [m]の値は、	・・・有効に鎖交する <u>最大の</u> 長さ $l$ [m]の値は、
P65 の解説文の (4)式の 1 行上の文	れる速度起磁力 $e$ [V]の <u>値</u> は、	れる速度起磁力 $e$ [V]の <u>最大の</u> 値は、
P66 の応用問題	応用問題の設問文章の中、及び、その右側に表した図番の <u>図 3</u> を <u>図 2</u> に訂正する。	

科目別 電験三種 演習問題集「理論」初版 第2刷 正誤表 (2/3)

訂正箇所	誤っている部分	正しい表記
P67 の応用問題の答	応用問題の解説文章の中、及び、その右側に表した図番の <u>図4</u> を <u>図3</u> に訂正する。	
P223 の(8)項	・・・負性抵抗の特性といい、 <u>発信回路</u> など・・・	・・・負性抵抗の特性といい、 <u>発振回路</u> など・・・
P224 の(7)項の 図12	図12の中に二つある図のうち、左側の図中の記号を、次のように訂正する。 p形半導体を表す記号の <u>二つの「p」を、二つとも「n」に訂正し、</u> n形半導体を表す記号の <u>一つの「n」を、「p」に訂正する。</u>	
P224 の(7)項の 文章	図12は、 <u>n</u> チャネル MOS形 FET の例ですが、 <u>n</u> 形半導体の表面に・・・	図12は、 <u>n</u> チャネル MOS形 FET の例ですが、 <u>p</u> 形半導体の表面に・・・
P225 の(9)の 文章	・・・太陽光を当てて、 <u>光エネルギー</u> を・・・	・・・太陽光を当てると、 <u>励起された伝導電子は n形半導体の負極へ、正孔は p形半導体の正極へ移動し、光エネルギーを</u> ・・・
P225 の(9)の 図14	図14の中の出力端子記号の <u>「+」を「-」に訂正し、「-」を「+」に訂正する。</u>	
P234 の模擬問題 設問の図2	図2の中の記号の <u>(ア)を(イ)に訂正し、(イ)を(ア)に訂正する。</u>	
P234 の模擬問題 設問の図3	図3の中の出力端子記号の <u>「+」を「-」に訂正し、「-」を「+」に訂正する。</u>	
P234 の模擬問題 のヒントの(2)	(2) ・・・その母体が <u>n</u> 形半導体で構成してあり、 ・・・酸化絶縁膜を有する構造である。_____	(2) ・・・その母体が <u>p</u> 形半導体で構成してあり、 ・・・酸化絶縁膜を有する構造である。 <u>ゲート信号を印加すると、母体の p形半導体のゲート側が n形に反転し、その反転層にドレイン電流 <math>I_D</math> が流れるので、これを n形という。</u>

科目別 電験三種 演習問題集「理論」初版 第2刷 正誤表 (3 / 3)

訂正箇所	誤っている部分	正しい表記
P234 の模擬問題のヒントの(3)	(3)・・・正電位を生ずる陽極は <u>n</u> 形半導体の方であり、負電位を生ずる陰極となる電極は <u>p</u> 形半導体の方である。	(3)・・・正電位を生ずる陽極は <u>p</u> 形半導体の方であり、負電位を生ずる陰極となる電極は <u>n</u> 形半導体の方である。
P235 の模擬問題の解説の図5	図5の二つある図のうち、左側の図中の記号を、次のように訂正する。 p形半導体を表す記号の <u>二つの「p」</u> を、 <u>二つとも「n」</u> に訂正し、 n形半導体を表す記号の <u>一つの「n」</u> を、「 <u>p</u> 」に訂正する。	
P235 の模擬問題の解説の図6	図6の中の出力端子記号の <u>「+」</u> を「 <u>-</u> 」に訂正し、「 <u>-</u> 」を「 <u>+</u> 」に訂正する。	
P235 の図6の左側の吹き出し文	太陽光の照射を受けたとき、 <u>正電位</u> を生ずる陽極電極は <u>n</u> 形半導体の方である。	太陽光の照射を受けたとき、 <u>負電位</u> を生ずる負極電極は <u>n</u> 形半導体の方である。
P235 の図6の右側の吹き出し文	太陽光の照射を受けたとき、 <u>負電位</u> を生ずる陰極電極は <u>p</u> 形半導体の方である。	太陽光の照射を受けたとき、 <u>正電位</u> を生ずる陽極電極は <u>p</u> 形半導体の方である。
P245 の表の中のベース接地回路	図中の $V_{BB}$ 電源の方向が、「 <u>左側が正極、右側が負極</u> 」に描いてあるが、この電源極性が誤っている。	図中の $V_{BB}$ 電源の方向を、「 <u>左側が負極、右側が正極</u> 」になるように描き直し、電源極性を訂正する。
P252 の「第6章のまとめ」の5項	5. <u>コレクタ</u> 接地回路のベース電流 $i_b$ は、・・・	5. <u>エミッタ</u> 接地回路のベース電流 $i_b$ は、・・・

以上